



おぐら倉

校訓  
自主  
創造  
協力



令和4年11月29日(火)発行  
校長 栗原博巳  
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

＜学校教育目標＞

豊かな心もち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

＜目指す生徒像＞

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
  - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
  - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

## 北九州英語村体験学習(1・2年生)

11月25日(金)本校1・2年生が北九州英語村(KGG)で体験学習を行いました。楽しみにしていた人もたくさんいました(2年生は2回目の体験となりました)。この日は、それぞれのアトラクションでの英会話を楽しみました。アクティビティの合間のイメージルームでは、クイズや自己紹介などに取り組んでいました。日頃の英語の授業の成果は出せたでしょうか。一生懸命、恥ずかしがらずに英語を使うことが大切です。学校通信第196号でも紹介しましたが、英語を使うときのポイントは一つです。それは、「Don't be afraid to make mistakes!(Don't be afraid of making mistakes!)」です。間違いを恐れず、チャレンジしていきましょう。



北九州英語村(KGG)の学校利用・団体利用では、外国人エージェントと生徒たちだけでチームを組み、入館からすべてオールイングリッシュでプログラムを体験します。海外での多様な場面に挑戦するアトラクションでは、引いたミッションカードの内容に英語でチャレンジします。

アトラクションは、イギリスのグローサリーマーケットをイメージした店内で外国人ショップスタッフから食料品や日用品を購入する「KGG Market」、オーストラリアのビーチサイドをイメージした店内で外国人ウェ이터・ウェイトレスにオーダーできる「KGG Restaurant」、ハワイをイメージした滞在先ホテルで観光プランを外国人コンシェルジュに相談する「KGG Hotel & Resorts」、夜のフライトをイメージした機内で外国人フライトアテンダントとコミュニケーションをとる「KGG Airlines」、ハリウッドのスタジオをイメージしたアトラクション内で英語での番組作りチャレンジする「KGG Studio」の全5種類です。1アトラクションの所要時間は約1時間となっています。



## スペース LABO 北九州市科学館(2年生)

11月25日(金)午前中、北九州英語村を体験した後、2年生はスペース LABO に行きました。英語村を後にし、スペース LABO ANNEX で昼食。久しぶりの校外での昼食となりました。その後、スペース LABO で体験学習を行いました。2年生は1学期、福岡市科学館を訪問しましたが、そことは違った面白さがあったようです。



普段何気なく生活している街や暮らしにはたくさんの「?」(不思議)や「!」(驚き)がかかれています。不思議と思う気持ちは、科学の入口です。街にフシギ、暮らしにフシギ、心にフシギ。スペース LABO は、一人ひとりが感じる「フシギ」の芽を大切に、その芽をさらに育てていく体験・体感型の科学館です。



小学生の学習である理科は、中学生になると理科1分野、理科2分野となり、さらに高校生になると生物、化学、物理、地学と細分化していきます。子どもたちは、小学生のころに好きだった理科も中学になったとたん、好きではなくなり、理科は嫌いという子も増えてくるといいます。

その意味でも、市内にこの施設があることは理科への興味・関心を高めるものだといえそうです。

## 11月24日は「和食の日」

11月24日の「和食の日」は一般社団法人和食文化国民会議が制定したもので、2013年にユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」を見直し、和食文化の保護・継承の大切さについて考える日です。

日本は海・山・里と豊かな自然に恵まれ、多様で新鮮な旬の食材と、うまみに富んだ発酵食品、米飯を中心とした栄養バランスに優れた食事構成をもつ、「和食」の文化があります。

「和食」は食事の場における「自然の美しさ」の表現、食事と年中行事・人生儀礼との密接な結びつきなどといった特徴を持つ、世界に誇るべき食文化です。

日本の秋は「実り」の季節であり、「自然」に感謝し、来年の五穀豊穡を祈る祭りなどの行事が、全国各地で盛んに行われる季節でもあります。

日本の食文化にとって大変重要な時期である秋の日に、毎年、一人ひとりが「和食」文化について認識を深め、和食文化の大切さを再認識するきっかけの日となっていくよう願いをこめて、11月24日を「いい日本食」「和食」の日と制定しました。

